

4. 給与住宅（社宅など）

8. その他（具体的に ）

F6 あなたのご家庭の一年間の世帯収入は。（〇は1つ）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 200万円未満 | 4. 600～800万円未満 |
| 2. 200～400万円未満 | 5. 800～1,000万円未満 |
| 3. 400～600万円未満 | 6. 1,000万円以上 |

F7 現在の同居家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。（〇は1つ）

- | | |
|------------|---------------|
| 1. 一人世帯 | 4. 親と子と孫の世帯 |
| 2. 夫婦のみの世帯 | 5. その他（具体的に ） |
| 3. 親と子の世帯 | |

F8 あなたと同居している家族の人数（自分を含む）は。（〇は1つ）

- | | |
|-------|-----------------|
| 1. 1人 | 6. 6人 |
| 2. 2人 | 7. 7人 |
| 3. 3人 | 8. 8人 |
| 4. 4人 | 9. 9人以上（具体的に 人） |
| 5. 5人 | |

F9 あなたの配偶関係は。（〇は1つ）

1. 未婚
2. 配偶者（パートナー）がいる → SQ1、2、3へ
3. 配偶者（パートナー）と死別した
4. 配偶者（パートナー）と離別した

SQ1 【F9で2と答えた方のみ】共働きですか。（〇は1つ）

1. 二人ともフルタイム（正社員など）で働いている
2. 一人はフルタイム（正社員など）、一人はパートタイム（非正規雇用など）で働いている
3. 二人ともパートタイム（非正規雇用など）で働いている
4. 夫（男性のパートナー）のみ働いている
5. 妻（女性のパートナー）のみ働いている
6. その他（具体的に ）
7. 二人とも働いていない

SQ2 【F9で2と答えた方のみ】あなたの配偶者（パートナー）の年齢は。（平成30年 月1日現在）（〇は1つ）

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 19歳以下 | 6. 40～44歳 |
| 2. 20～24歳 | 7. 45～49歳 |
| 3. 25～29歳 | 8. 50歳以上 |
| 4. 30～34歳 | |
| 5. 35～39歳 | |

SQ3 【F9で2と答えた方のみ】配偶者（パートナー）の現在の職業は。（〇は1つ）

1. 農林漁業（家族従事者も含む）
2. 商工業・サービス業（商店・個人工場経営者など：家族従事者も含む）
3. 自由業（開業医、弁護士、芸術家など）
4. 管理職（会社・官公庁の課長級以上）
5. 専門技術系勤め人（病院勤務医師・看護師・技師・研究員・教師など）
6. 事務系勤め人（一般事務員・事務機器のオペレーターなど）
7. 販売サービス系勤め人（外交員・商店員など）
8. 労務系勤め人（技能工・職人など）
9. パートタイム・アルバイト（派遣・契約社員を含む）
10. 在宅ワーク（内職を含む）
11. 学生
12. 家事従事者
13. 無職・その他（具体的に)

F10 あなたのお住まいの市町村は。（〇は1つ）

- | | | | |
|---------|----------|---------|----------|
| 1. 北九州市 | 16. 筑紫野市 | 31. 篠栗町 | 46. 大刀洗町 |
| 2. 福岡市 | 17. 春日市 | 32. 志免町 | 47. 大木町 |
| 3. 大牟田市 | 18. 大野城市 | 33. 須恵町 | 48. 広川町 |
| 4. 久留米市 | 19. 宗像市 | 34. 新宮町 | 49. 香春町 |
| 5. 直方市 | 20. 太宰府市 | 35. 久山町 | 50. 添田町 |
| 6. 飯塚市 | 21. 古賀市 | 36. 粕屋町 | 51. 糸田町 |
| 7. 田川市 | 22. 福津市 | 37. 芦屋町 | 52. 川崎町 |
| 8. 柳川市 | 23. うきは市 | 38. 水巻町 | 53. 大任町 |
| 9. 八女市 | 24. 宮若市 | 39. 岡垣町 | 54. 赤村 |
| 10. 筑後市 | 25. 嘉麻市 | 40. 遠賀町 | 55. 福智町 |
| 11. 大川市 | 26. 朝倉市 | 41. 小竹町 | 56. 苅田町 |
| 12. 行橋市 | 27. みやま市 | 42. 鞍手町 | 57. みやこ町 |
| 13. 豊前市 | 28. 糸島市 | 43. 桂川町 | 58. 吉富町 |
| 14. 中間市 | 29. 那珂川町 | 44. 筑前町 | 59. 上毛町 |
| 15. 小郡市 | 30. 宇美町 | 45. 東峰村 | 60. 築上町 |

◆全員の方向におたずねします。

問1 近年、出生率が低下し、子どもの数が減少してきていますが、あなたはこのことを知っていますか。
(〇は1つ)

1. よく知っている
 2. 聞いたことはあるが、よくは知らない
 3. 知らない
- } → SQ1、2へ

SQ1 【問1で1または2と答えた方に】あなたは、子どもの数が減少してきていることについてどう
思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。(〇は1つ)

1. 非常に問題である
2. やや問題である
3. あまり問題ではない
4. 全く問題ではない

SQ2 【問1で1または2と答えた方に】あなたは、この出生率の低下の原因は何だと思えますか。
次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。(〇は3つまで)

1. 住宅事情が悪いから
2. 子どもの生活費や教育費に経費がかかりすぎるから
3. 子どもは定年までに成人してほしいと考え、出産を控える人がいるから
4. 出産や育児に対する夫の理解や協力が足りず、妻の負担が大きいから
5. 子どもは少なく生んで質の高い教育を受けさせたいと思う人が増えたから
6. 家庭と仕事の両立が困難だから
7. 結婚平均年齢が上昇したから
8. 夫婦二人の生活を充実させたいと考える人が増えたから
9. 子どもよりも自分の生活を充実させたいと考える人が増えたから
10. 介護や看護の必要な人が家族にいて、育児との両立が困難だから
11. その他(具体的に)

問2 最近、結婚する年齢が高くなっていますが、あなたはその原因は何だと思えますか。次の中からあて
はまるものを2つまで選んでください。(〇は2つまで)

1. 若いうちは趣味や娯楽を楽しみたいと考える人が増えたから
2. 若いうちは仕事に打ち込みたいと考える人が増えたから
3. 若いうちから子育てをしたくないと考える人が増えたから
4. 適当な結婚相手が見つからない人が増えたから
5. 女性の学歴が高くなっているから
6. 女性に経済力がついたから
7. 独身でいることに対する社会の目が変わったから
8. 単身生活が便利になったから
9. 定職に就かない若者・非正規雇用の若者が増えたから
10. その他(具体的に)

問3 結婚したい人が結婚できるようになるには、どのようなことが必要と考えますか。次の中からあてはまるものを選んでください。(〇は2つまで)

1. 若者が就業して安定した収入を得られること
2. 若者に結婚や子育ての良い面を伝え関心を持ってもらうこと
3. 住みやすい環境を提供するような定住対策を進めること
4. 企業や地域などが出会いの場を設定するなどの結婚の支援・応援を行うこと
5. 行政が出会いの場を設定するなどの結婚の支援・応援を行うこと
6. 子育てと仕事の両立ができる環境があること
7. その他(具体的に)

SQ1 【問3で 5 と回答した方に】 今後、行政に実施してほしい結婚支援・応援策は何ですか。(〇は1つ)

1. 「出会いの場」(婚活イベント)をもっと創出し、その情報提供をする
2. 独身男女の出会いや交際を支援する婚活サポーター(仲人、おせっかいさん)の養成
3. 登録制による結婚相手紹介システムの設置
4. ライフプラン(人生設計)教育を行うこと
5. 出会いから結婚に関する相談窓口の設置
6. 交際のノウハウ等を学ぶセミナーの開催
7. 行政による支援は必要ない
8. その他(具体的に)

問4 あなたにとって、子どもを生き育てるということは、どのような意味を持つと思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。(〇は2つまで)

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 自分の生命を伝える | 7. 子どもを育てることにより自分自身が成長する |
| 2. 自分の志をつぐ後継者をつくる | 8. 子どもを育てるのは楽しい |
| 3. 家の存続のため | 9. 夫婦は子どもがいて初めて社会に認められる |
| 4. 次の社会を担う世代をつくる | 10. 子どもがいるのが自然である |
| 5. 家族の結びつきを強める | 11. その他(具体的に) |
| 6. 老後の面倒をみてもらう | 12. 特に考えたことはない |

問5 あなたにとって理想とする子ども数は、何人ですか。(〇は1つ)

1. 1人
 2. 2人
 3. 3人
 4. 4人
 5. 5人以上
 6. 子どもはいらない → SQ2へ
 7. わからない
4. 4人
5. 5人以上
- SQ1へ

SQ1 【問5で 3~5 と答えた方に】 あなたの理想とする子どもの数が3人以上なのは、どのような理由からですか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。(〇は2つまで)

1. 子どもの成長にとって兄弟姉妹は多い方がよい
2. 子どもが多いほど家庭が楽しい

3. 子どもが多くいれば、自分たちの老後を安心して暮らせる
4. 兄弟姉妹がいると将来子どもたちが支え合っている
5. 子どもは3人以上いた方がよいという話を聞いている
6. 子どもが好きだから多いほどよい
7. その他（具体的に _____)

SQ2 【問5で6と答えた方に】子どもがいないのは、どのような理由からですか。次の中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 子どもが嫌いだから | 4. 夫婦だけの生活を大切にしたいから |
| 2. 子育てが大変だから | 5. 子どもを生むのは大変だから |
| 3. 子育てに自信がないから | 6. その他（具体的に _____) |

問6 あなたは、実際に何人の子どもを育てられますか（現在おられるお子さんを含む）。次の中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

- | | |
|-------|-----------------|
| 1. 1人 | 5. 5人以上 |
| 2. 2人 | 6. 子どもを持つつもりはない |
| 3. 3人 | 7. わからない |
| 4. 4人 | |

SQ1 【問6の実際の子どもの数が、問5の理想の子どもの数より少ない方に】実際の子どもの数が、理想とする子どもの数よりも少ないのは、子育ての負担という点で考えた場合、どのような理由からですか。次の中からあてはまるものを2つまでを選んでください。(〇は2つまで)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 育児の体力的な負担が大きい | 5. 子どもを育てるのにお金がかかる |
| 2. 育児の心理的負担が大きい | 6. 世帯の収入が少ない |
| 3. 健康上又は年齢的な理由で無理 | 7. その他（具体的に _____) |
| 4. 自分の人生を大切にしたい | |

SQ2 【問6の実際の子どもの数が、問5の理想の子どもの数より少ない方に】では、あなたの実際の子どもの数が、理想とする子どもの数よりも少ないのは、子育て環境という点で考えた場合、どのような理由からですか。次の中からあてはまるものを2つまでを選んでください。(〇は2つまで)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 住居が狭い、部屋が少ない | 6. 配偶者の育児への協力が不足している |
| 2. 仕事と育児の両立は困難 | 7. 子ども全員に手が行き届かない |
| 3. 子どもがのびのび育つ生活環境がない | 8. 教育をめぐる状況に対して不安が大きい |
| 4. 子どもの将来が不安である | 9. その他（具体的に _____) |
| 5. 配偶者が子どもを欲しがらない | |

問7 母体と胎児の健康管理のための妊婦健康診査についておたずねします。

(1) 妊婦健康診査の必要性を知っていますか。(〇は1つ)

1. 知っている
2. 妊婦健康診査という言葉は聞いたことがあるが、詳しくは知らない
3. 知らない

(2) 市町村からの妊婦健康診査の費用の助成制度があることを知っていますか。(〇は1つ)

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない
3. 知らない

問8 妊娠後、妊婦健康診査を受けず、出産が迫って初めて医療機関を受診する、いわゆる“飛び込み出産”が問題となっていることを知っていますか。次の中からあてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない
3. 知らない

問9 問8の“飛び込み出産”を防ぐにはどうしたらいいと思いますか。次の中からあてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

1. 妊婦健康診査の必要性を県民に周知する
2. 学校教育の中で妊婦健康診査の必要性を教える
3. 妊婦健康診査の費用の自己負担の軽減を図る
4. 妊婦健康診査を受けないのは本人の責任なので、何もする必要はない
5. その他(具体的に)

問10 不妊治療を行う際に治療費の一部が助成される制度がありますが、あなたはこの制度について知っていますか。次の中からあてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない
3. 知らない

問11 あなたは、3歳未満の子どもを保育所などの保育施設に預けることについて、どのようにお考えですか。次の中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

1. 保育施設に預けたりせず、親が家庭で育てる方がよい
2. 親の就労のためには、保育所などを利用する方がよい
3. 親の社会活動参加や趣味、学習のためには、保育所などを利用する方がよい
4. 子どもの社会性を育てるためには、保育所に預ける方がよい
5. その他(具体的に)

問12 子どもを健やかに育てる上で、次の(A)～(N)のような環境はどの程度深刻な環境だと思いますか。あなたの考えに最も近いものをそれぞれの項目について選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

	非常に深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻ではない
(A) 子どもが安全で自由に遊べる場所が地域に少ない	1	2	3	4
(B) 子どもが被害を受けている犯罪や暴力が多い	1	2	3	4

(C) 母子・小児医療の医療システムが充実していない	1	2	3	4
(D) 子どもをしつける（しかる・ほめる）大人がいない	1	2	3	4
(E) 地域で育児を助け合う環境が十分整備されていない	1	2	3	4
(F) 子どもが近所の高齢者と接する機会が少ない	1	2	3	4
(G) 子ども同士の交流が少ない	1	2	3	4
(H) 子どもが喜んで参加できる地域での活動が少ない	1	2	3	4
(I) 子どもが加害者となる事件が多い	1	2	3	4
(J) いじめが多くなっている	1	2	3	4
(K) テレビやビデオ（DVD）による悪影響が広がっている	1	2	3	4
(L) インターネットや携帯電話（スマートフォン）による悪影響が広がっている	1	2	3	4
(M) 子どもが直接ふれることのできる自然が少ない	1	2	3	4
(N) 親同士が子育てについて、交流したり学んだりする機会が少ない。	1	2	3	4

問13 福岡県では、18歳未満の子どもを持つ子育て家庭に対し様々な応援サービスを提供する店舗を募集する「子育て応援の店」推進事業、毎年11月に企業や店舗、団体が家族で楽しめるイベントの開催や割引サービスなどを多彩に展開する「ふくおか・みんなで家族月間」キャンペーンを実施しています。あなたは、この事業を知っていますか。次の中からあてはまるものを選んでください。（○は1つ）

1. 両方とも知っている
2. 「子育て応援の店」推進事業のみ知っている
3. 「ふくおか・みんなで家族月間」キャンペーンのみ知っている
4. 知らない

～「子育て応援の店」とは～

・「子育て応援の店」は、18歳未満の子どもを育てている子育て家庭に、様々なサービスを提供する店舗です。福岡県では子どもや子育てを社会全体で応援する気運づくりを行うため、このような「子育て応援の店」の募集・登録を進めています。子育て応援の店シンボルマークステッカーの貼ってある店舗でサービスを実施しています。

お店やサービスの内容は、次のホームページや携帯サイトで探すことができます。ホームページからは「子育て応援の店」の登録もできます。

詳細はコチラをご覧ください。 [子育て応援の店](#) [検索](#)

子育て応援の店
シンボルマーク

～「ふくおか・みんなで家族月間」とは～

・福岡県では、平成21年度から、「家族の日」のある11月を「ふくおか・みんなで家族月間」とし、企業やお店、施設、市町村等と連携して、県内全域でキャンペーンを実施しています。

・11月1日から30日までの間、県内各地の企業やお店、施設などが、親子、家族で楽しめるイベントの開催やプレゼントの提供、施設の無料開放などを行います。



問14 あなたは18歳未満の子どもを持つ子育て家庭に対し様々な応援サービスを提供する「子育て応援の店」を利用したことがありますか。次の中からあてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

1. 利用したことがある
2. 利用したことはない

SQ1 【問14で1と答えた方に】「子育て応援の店」を利用してどうでしたか。次の中からあてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

1. 子ども連れでも利用しやすかった
2. お店のサービスがよかった
3. もっと増えてほしい
4. 期待したサービスが受けられなかった
5. その他(具体的に)

問15 あなたは、里親制度について知っていますか。次の中からあてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない
3. 知らない

～里親制度とは～

親の病気、家出、離婚、そのほかいろいろな事情により、家庭で生活できない子どもがいます。

里親とは、このような子ども達を、自分の家庭に迎え入れて養育する人のことをいいます。

里親制度とは、児童福祉法に基づいて、里親となることを希望する方に子どもの養育をお願いする制度です。

里親制度としては、以下の4つの類型があります。

- ・養育里親：養子縁組を目的とせず、様々な事情により家庭で生活することができない子どもを養育する里親
- ・専門里親：養育里親のうち、虐待等により心に傷を受けた子どもや障害のある子どもなど、専門的な知識と技能を用いて養育する里親
- ・養子縁組里親：養子縁組を前提として子どもを養育する里親
- ・親族里親：両親の死亡等の理由により、家庭で生活できない子どもを引き取り養育する3親等以内の親族による里親
- ・新生児里親：特別養子縁組を前提として新生児を病院から直接里親宅へ委託し、より早く家庭的な養育環境をつくる里親制度のひとつ

※ 里親になるには、児童相談所の窓口でご相談ください。

問16 あなたは、少子化対策として、どのような施策が必要だと思えますか。次の中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

1. 出会いの場を提供して結婚のお手伝いをする事業を実施した方がよい
2. 子どもを安心して育てられる環境を整備した方がよい
3. 女性が仕事を続けられる環境を整備した方がよい
4. 子育てをしている家庭への経済的な支援を充実した方がよい
5. 男性が育児に関われるような環境を整備した方がよい
6. 結婚や出産は個人の問題であり、行政が関与すべき問題ではない
7. その他(具体的に)

問17 あなたは、子どもを健やかに生み育てるためには、県や市町村にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを3つまでを選んでください。(〇は3つまで)

1. 子育ての楽しさ、大切さの啓発や育児に関する相談・情報システムの整備
2. 家事や子育てに対する男女共同参画の考え方の普及・啓発
3. 妊娠から出産におよぶ母子保健サービスの充実
4. 保育所等の施設数の拡充
5. 延長保育、休日保育など多様なニーズにあった保育サービスの拡充
6. ファミリー・サポート・センターやベビーシッターなどの子育て支援の充実
7. 学童期の子どもの放課後対策の拡充
8. 児童館や児童センターなど健全な遊び場の整備拡充
9. 子育てサークルなど地域の助け合い活動の育成や子ども会活動などへの支援
10. 育児休業制度や退職者の再雇用制度の充実など職場環境の整備
11. 育児のための時間短縮・フレックスタイムなど勤務時間の柔軟化
12. テレワーク（インターネット等を活用した場所や時間にとらわれない働き方）による在宅勤務などの新たな就業形態の開拓・普及
13. 良質な住宅の供給や低金利の資金融資など住環境の整備
14. 小さな子ども連れでも安心できる「まちづくり」の推進
15. 出産費用の援助や児童手当、育児休業中の給付金及び扶養控除の増額など子育てのための経済的支援の拡充
16. 保育所や幼稚園などの費用負担の軽減
17. 子ども医療費助成の拡充
18. 子どもが様々な体験活動ができる場や機会の拡充
19. 学校における学力向上対策
20. 子どもの学力や体力の向上の基盤となる家庭や地域の教育力の向上
21. 学校等における自然体験活動の充実
22. その他上記以外（具体的に

)

問18 あなたは、今後、男性が女性とともに子育てをしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。（〇は3つまで）

1. 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
2. 企業中心という社会全体の仕組みを改めること
3. 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること
4. 労働時間短縮や休暇制度を普及させること
5. 夫婦の間で十分に話し合い、家事などの分担をすること
6. 家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をすること
7. 男性の仕事中心の生き方・働き方を改めること
8. その他（具体的に

)

※お子さんがおらず、結婚経験がある方はここまでです。

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、月 日（ ）までに投函してください。

◆お子さんがおられる方のみにおたずねします。

※**お子さんがおらず**、現在までに結婚経験のない方は ページの問31 へお進みください。

問19 現在、あなたのお子さんは何人いらっしゃいますか。次の中からあてはまるものを選んでください。
(〇は1つ)

- 1. 1人
- 2. 2人
- 3. 3人
- 4. 4人
- 5. 5人以上

問20 あなたの一番上のお子さんと一番下のお子さんは何歳ですか。下の()にご記入ください。
なお、お子さんがお一人の方は一番上のお子さんの記入欄のみご記入ください。

- 一番上のお子さん () 歳
- 一番下のお子さん () 歳

問21 あなたは、子育てをして良かったことや楽しかったことはありますか。ご自身の感じ方について、下の(A)～(H)の項目ごとにあてはまるものを選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そうは思わない
(A) 家族との会話がはずむようになった	1	2	3	4
(B) 配偶者との信頼が深まった	1	2	3	4
(C) 子どもを通じて友人ができるなど付き合いが広がった	1	2	3	4
(D) 子育ての経験が仕事や趣味の活動などに役立った	1	2	3	4
(E) 子育てによって自分も成長していると感じられる	1	2	3	4
(F) 自分の子どもは結構順調に育っていると思う	1	2	3	4
(G) 子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思う	1	2	3	4
(H) 子どもがかわいくてたまらない	1	2	3	4

問22 あなたは、子育てをする上で悩みや不安があります(した)か。次の中からあてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

- 1. かなりある (かなりあった)
 - 2. 少しはある (少しはあった)
 - 3. 以前はあったが、いまは特にない
 - 4. 特にない (なかった)
- } → 次ページSQ1、2、3、4へ

SQ1 【問2で 1～3 と答えた方に】心理的な面での、あなたの子育ての悩みはどんなことですか（した）か。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。（〇は2つ）

1. 子育てについて配偶者の協力が得られない
2. 子育てについて親の協力が得られない
3. 子育てというものが全般的によくわからない
4. 子どもの病気や心身の発育・発達の遅れが気になる
5. 子どもの心身の発達に応じたしつけや教育の仕方がよくわからない
6. 子どもとふれあう時間が少ない
7. 子育てに追われて自分のやりたいことができない
8. 子どもを通じての近所づきあいや、子どもの親同士のつきあいが負担になる
9. 子どもの成績や勉強の指導が不安だ
10. 自分自身の親としての適性に自信がない
11. 自分自身の体力や健康などに自信がない
12. その他（具体的に

SQ2 【問2で 1～3 と答えた方に】環境面での、あなたの子育ての悩みはどんなことですか（した）か。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。（〇は2つ）

1. 近所に子どもの遊び友だちがいない
2. 近所に子どもを安心して遊ばせる場所がない
3. 近くに保育所や幼稚園など子どもを預ける場所がない
4. 学校の先生との連絡があまり取れない
5. 子どものいじめについて気付けない、教師が気付いていない
6. 子どもの保育費用にお金がかかる
7. 子どもの教育費や稽古ごとなどにお金がかかる
8. 住居が子育てに十分な広さではない
9. 社会環境や自然環境の悪化に不安がある
10. 食物の安全性に不安がある
11. 子育てと仕事や家事との両立がしにくい
12. その他（具体的に

SQ3 【問2で 1～3 と答えた方に】あなたが子育てをしていく上で、悩みや不安などを相談した相手はだれですか（した）か。次の中からあてはまるものを選んでください。（〇はいくつでも）

1. 配偶者
2. 自分や配偶者の親など、年上の親族
3. 自分や配偶者の兄弟姉妹など同世代の親戚
4. 友人や知人
5. その他（具体的に
6. 相談相手はいない

SQ4 【問2で 1～3 と答えた方に】あなたが子育てをしていく上で、悩みや不安を相談するのに利用する（した）ものはありますか（した）か。次の中からあてはまるものを選んでください。（〇はいくつでも）

1. 地域の子育てサークル
2. 子育て支援センター
8. 保健所
9. 病院

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 3. 保育所・幼稚園・学校等の先生 | 10. 民生委員・児童委員 |
| 4. 児童相談所 | 11. 公的機関の電話相談 |
| 5. 市町村保健センター | 12. テレビ・ラジオ・雑誌などの相談コーナー |
| 6. 福祉事務所（家庭児童相談室） | 13. その他（具体的に |
| 7. 教育センターや教育事務所 | 14. 特に何も利用しない |

問23 あなたは、子育てに関する情報をどのように入手しています（した）か。次の中からあてはまるものを選んでください。（〇はいくつでも）

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 親族（親、兄弟姉妹など） | 7. テレビ、ラジオ、新聞 |
| 2. 近所の人、知人、友人 | 8. 子育て雑誌 |
| 3. 子育てサークルの仲間 | 9. インターネット |
| 4. 保育所、幼稚園、学校 | 10. コミュニティ誌 |
| 5. 市町村役場や市町村の機関 | 11. その他（具体的に |
| 6. 市町村の広報やパンフレット | 12. 特にない |

問24 あなたは育児への関わり方は十分だと思います（した）か。下の（A）～（G）の項目ごとにあてはまるものを選んでください。（〇はそれぞれ1つ）

	十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である
(A) 子どもの世話をする時間	1	2	3	4
(B) 子どもの相手をしたり、勉強をみたりする時間	1	2	3	4
(C) 子どもに接する上での精神的な余裕	1	2	3	4
(D) 夫婦で育児についての話をする時間	1	2	3	4
(E) 家事をする時間	1	2	3	4
(F) 家族で食事をする機会	1	2	3	4
(G) 家族だんらんの時間	1	2	3	4

問25 あなたが配偶者の育児への関わりについて不満を感じている点があります（した）か。次の中からあてはまるものを3つまでを選んでください。（〇は3つまで）

1. 日常の家事
2. 子どもの日常の世話（食事・お風呂・トイレなど）
3. 子どもが病気のときの世話
4. 子どもとの遊び
5. 誕生日などのイベント、保育園・学校などの行事
6. 子どもの話を聞くことや、気持ちを理解することについて

7. 子どもの模範となる生活態度をとることについて
8. 子どものしつけ
9. 子どもの発達や教育への関心
10. 夫婦での子どもや子育てに関する話し合い
11. 夫婦で子育ての悩みを分かち合うことについて
12. 子育てを楽しむことについて
13. その他（具体的に _____)
14. 該当する配偶者がいない
15. 特になし

問26 あなたは地域での子どもを通じたお付き合いの中で関わっている人はいます（した）か。次の中からあてはまるものを選んでください。（〇は1つ）

1. 子どもを通じて関わっている人がいる → **SQ1**へ
2. 保育所や幼稚園の送り迎え、近所での買い物など際に、あいさつをする程度の人がある
3. 子どもを通じて関わっている人はいない
4. わからない

SQ1 【問26で 1 と答えた方に】子どもを通じて関わっている人はどのような人ですか。次の中からあてはまるものを選んでください。（〇はいくつでも）

1. 子どもを預けられる人
2. 子どもをしかったり、注意してくれたりする人
3. 子どもをつれて家を行き来する人
4. 子ども同士を遊ばせながら、立ち話をする程度の人
5. 子どもを連れて、一緒に遊びや旅行に出かける人
6. 子育ての悩みを相談できる人
7. その他（具体的に _____)

問27 あなたは、地域の子育てサークルにこれまで参加したことがありますか。次の中からあてはまるものを選んでください。（〇は1つ）

1. 参加している（参加したことがある） → **SQ1**へ
2. 参加したことがない → **SQ2**へ

SQ1 【問27で 1 と答えた方に】あなたは、地域の子育てサークルに参加してどのように感じましたか。次の中からあてはまるものを選んでください。（〇はいくつでも）

1. もっと広げていくべきだと思う
2. 育児の悩みなどが解決できた
3. 親同士の交流で育児ストレスが解消できた
4. 自分の子育てに自信が持てた
5. 育児に関する知識が増した
6. 悩みの相談相手ができるようになった
7. 親の交流で友達が増えた
8. 子育てサークルにボランティアを増やすべきだと思う
9. 子育て終了後は地域のサークル活動に参加したい
10. その他（具体的に _____)

11. あまり役に立たなかった

SQ2 【問27で2と答えた方に】あなたが、地域の子育てサークルに参加しない理由はどのようなものですか。次の中からあてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

1. どんなものか知らない
2. 育児に関する相談者がいるので、必要性を感じない
3. 興味はあるが、身近にない
4. 人間関係がわずらわしい
5. 自分の子育てに干渉されたくない
6. 参加したいが、仕事をしているので参加できない
7. その他(具体的に)

問28 休日や夜間に子どもが急病になったとき、どのように対応されています(した)か。次の中からあてはまるものを2つまでを選んでください。(〇は2つまで)

1. 119番で電話をし、救急車で病院へ行く
2. 福岡県救急医療情報センターまたは#7119に電話し、受付可能な医療機関などに問い合わせる
3. かかりつけ医療機関でみてもらう
4. 近くにある24時間に対応する救急病院でみてもらう
5. 買い薬等で対応し、翌朝になって病院に行く
6. #8000を利用する
7. 小児救急医療ガイドブック「必携!子ども救急」を利用する
8. インターネット・SNSを利用し、対応策や診療可能な医療機関を調べる
9. その他(具体的に)

～#8000(小児救急電話相談事業)とは～

小さいお子さんをお持ちの保護者の方が休日・夜間の急な子供の病気にどう対処したらよいか、病院等の診療を受けたほうがよいのかなど迷ったときに、小児科医師・看護師へ電話による相談ができるものです。

この事業は全国同一短縮番号(#8000)をプッシュすることにより、相談窓口へ自動転送され、小児科医師・看護師から患者の症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院等のアドバイスが受けられます。

問29 休日や夜間に子どもが急病になったとき、小児救急医療について、困ったことがあります(した)か。次の中からあてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

1. よくある(よくあった)
 2. 時々ある(時々あった)
 3. 困ったことはない
- SQ1へ

SQ1 【問29で1または2と答えた方に】あなたが小児救急医療について困ったことは、具体的にはどのようなことでしたか。次の中からあてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

1. みてもらう病院で何時間も待たされた
2. 近くにある病院ではみてもらえず、小児科医を何時間も探した
3. 急患をみてくれる病院がなく、救急車が長時間右往左往した
4. 小児科の専門医にみてもらいたかったのに、みてもらえなかった
5. その他(具体的に)

※お子さんがおられて、現在就業されている方はここまでです。

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、 月 日 ()までに投函してください。

◆お子さんがおられて、現在就業していない方のみにおたずねします。

問30 あなたは、子どもを預けることができれば働きたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 働きたい → SQ1、2、3へ
2. 働きたくない
3. わからない

SQ1 【問30で1と答えた方に】子どもを預けるとしたら、事業所内保育所と自宅の最寄りの保育所ではどちらを希望しますか。次の中からあなたの考えに最もあてはまるものを選んでください。

(〇は1つ)

1. 事業所内保育所
2. 職場近くの保育所
3. 自宅の最寄りの保育所
4. どちらでもよい

◆SQ1の番号を選んだ理由を、次の()内にご記入ください。

()

SQ2 【問30で1と答えた方に】働く際に最も優先することについて、次の中からあなたの考えに最もあてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

1. 勤務時間に弾力性があること
2. 休日が土日、祝日であること
3. 勤務場所が自宅から近いこと
4. 賃金
5. やりがい
6. その他(具体的に)

SQ3 【問30で1に答えた方に】希望される勤務時間は何時から何時までですか。次の中からあてはまる方を選んでください。(〇は1つ)

なお、2を選んだ方は、何時頃から何時頃までを希望されるのかをご記入ください。

1. 9時～17時(フルタイム)
2. 短時間勤務 → 開始時間()時頃 から 終了時間()時頃まで

※お子さんがおられて、現在就業されていない方はここまでです。

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、月 日()までに投函してください。

◆現在までに結婚経験のない方のみにおたずねします。

問31 あなたは結婚に対してどのようなイメージをもっていますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。(○は3つまで)

1. 好きな人とずっと一緒にいられる
2. 精神的、経済的に安定する
3. 子どもが持てる
4. 親から独立できる
5. 家事が楽になるなど生活していく上で便利になる
6. 親を喜ばすことができる
7. 時間やお金を自由に使えなくなる
8. 家事をするのが大変そう
9. 子育てをするのが大変そう
10. 他人と家庭を築くのは面倒そう
11. 相手の家族・親族との付き合いが面倒そう
12. その他（具体的に)
13. わからない

問32 あなたにとって、独身生活にはどのような利点があると思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。(○は2つまで)

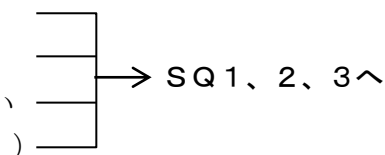
1. 行動や生き方が自由である
2. 異性との交際が自由である
3. お金の使い方が自由である
4. 住宅や環境の選択の幅が広い
5. 家族を養う責任がなく、気楽である
6. 友人などとの広い人間関係が保ちやすい
7. 職業をもち、社会とのつながりが保てる
8. 現在の家族とのつながりが保てる
9. その他（具体的に)
10. 特にない

問33 結婚することは、あなたにとってどのような利点があると思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。(○は2つまで)

1. 経済的に余裕がもてる
2. 社会的信用を得たり、周囲の人と対等になったりできる
3. 精神的な安らぎの場が得られる
4. 愛情を感じている人と暮らせる
5. 自分の子どもや家族を持てる
6. 性的な充足が得られる
7. 生活上便利になる
8. 親から独立できる
9. 親を安心させられたり、周囲の期待にこたえられたりする
10. その他（具体的に)
11. 特にない

問34 あなた自身の結婚に対してどのようにしたいと思っていますか。次の中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

1. できるだけ早く結婚したい
2. いずれ結婚したい
3. 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない
4. その他(具体的に
5. 一生結婚するつもりはない



SQ1 【問34で1～4と答えた方に】あなたは何歳ぐらいのときに、何歳ぐらいの相手と結婚したいと思いますか。自分と相手について希望する年齢を具体的に下の()の中に記入してください。

自分が()歳ぐらいの時に、相手が()歳ぐらいの人と結婚したい

SQ2 【問34で1～4と答えた方に】あなたは結婚相手を決めるとき、何を重視しますか。次の中からあてはまるものを3つまでを選んでください。(〇は3つまで)

1. 相手の学歴
2. 相手の職業
3. 相手の収入などの経済力
4. 相手の人柄
5. 相手の容姿
6. 共通の趣味の有無
7. 自分の仕事に対する理解と協力
8. 家事・育児に対する能力や姿勢
9. その他(具体的に

)

SQ3 【問34で1～4と答えた方に】あなたが現在独身でいる理由は何ですか。次の中からあてはまるものを3つまでを選んでください。(〇は3つまで)

1. 結婚するにはまだ若すぎるから
2. 結婚する必要性をまだ感じないから
3. 今は、仕事(または学業)に打ち込みたいから
4. 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから
5. 独身の自由さや気楽さを失いたくないから
6. 適当な相手にまだめぐり会わないから
7. 異性とうまくつき合えないから
8. 結婚資金が足りないから
9. 結婚生活のための住居のめどがたたないから
10. 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から
11. 結婚した後の経済力に不安があるから
12. その他(具体的に

)

問35 福岡県では、少子化対策の一環として、結婚の意向はあっても出会いの機会が少ない独身男女に出会いの場を提供する「出会い・結婚応援事業」を実施しています。

あなたは、この事業について、知っていますか。(〇は1つ)

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない } → SQ1へ
3. 知らない

SQ1 【問35で1または2と答えた方に】「出会い・結婚応援事業」についてどう思いますか。次の中からあてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

1. 詳しい内容を知りたい
2. 参加してみたい
3. 周囲の独身者に実施されていることを教えたい
4. その他(具体的に)
5. 必要性を感じない

～「出会い・結婚応援事業」とは～

福岡県では、「結婚したいと思っているけれど出会いの機会が少ない・・・」という独身男女に対して、出会いの場を提供し、結婚のきっかけづくりを行う「出会い・結婚応援事業」を実施しています。

官民が一体となって、パーティーやマナーアップ講座等の様々なイベントを企画し、その情報をあらかじめ登録されている独身男女の方々に対して、メールマガジン「あかい糸めーる」で無料配信しています。

メルマガ会員は随時募集です。

詳細は[こちら](#)をご覧ください。

[あかい糸めーる](#) [検索](#)

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、月 日()までに投函してください。